

# 地域金融の健全性と金融仲介機能の発揮に関する課題について

## 地域金融機関を取り巻く経営環境

- ① 人口減少による資金需要の低下
- ② 高齢化の進展による預金の増加
- ③ 低金利環境の継続と金利上昇という両方向のリスクに直面
- ④ FinTechによる金融サービスに係るコスト構造の劇的な変化の可能性
- ⑤ 生産性向上に向け、様々な経営課題（経営改善、事業再生、事業承継等）を抱えた地域企業が多数存在



## 地域金融機関の現状

- ① 本業（貸出・手数料ビジネス）の収益性の低下
  - 信用リスクをとらない担保・保証依存型のビジネスの定着（アパートマンション・不動産業向け融資、住宅ローン等）  
⇒ 金利競争による貸出規模の拡大の継続
  - 事業性評価に基づく融資・本業支援業務の収益化の遅れ
- ② 適切な運用・リスク管理態勢なき有価証券運用への依存
- ③ 希望的な観測に頼った経営を行っている先や、必要な経営改革を行わず、社外取締役・株主等からの牽制機能も働いていない先が存在

## 地域金融の課題

○ 将来にわたって、金融システムの健全性が維持されることにより、地域における金融仲介機能が安定的に発揮され、顧客の利便性や企業価値の向上、地域経済の活性化が図られることが重要

【課題1】 現在、バランスシートの健全性に問題はないが、**ビジネスモデルの持続可能性等に深刻な課題を抱えている金融機関に対して、どのように早急に対応すべきか（どのような経営状況になった場合に、どのような監督対応をすべきか）**

（参考）金融行政方針

- 検査による経営課題の特定、経営陣・社外取締役との深度ある対話を通じた、課題解決に向けた早急な対応の促進
- 健全性に関する早期是正のメカニズム、金融機能の維持に関する制度・監督対応の改善余地の検討

【課題2】 ビジネスモデルの持続可能性を高める経営戦略上の有力な選択肢として、**顧客との「共通価値の創造」を目指すビジネスモデルへの転換**が考えられるが、これを実現するため、**地域金融機関及び監督当局は具体的に何に取り組むべきか**

（参考）金融行政方針

- 金融仲介を客観的に評価できる共通の指標群(KPI)の策定、「見える化」
- 金融仲介の改善に向けた取組みに意欲のある金融機関に対する、REVIC及び日本人材機構による人材・ノウハウ支援の強化
- 実態把握に基づく、適切なガバナンスの発揮の促進

【課題3】 **人口減少等による金融サービスの供給者の減少**が将来予想される中、**将来にわたって金融機関の健全性と金融仲介機能の発揮を両立させるために、地域経済や地域の企業・住民の立場から最適な政策は何か**

（参考）金融行政方針

- 将来にわたって金融機関の健全性と金融仲介機能の発揮を両立させるための金融行政上の課題について、競争のあり方も含め検討